

平成29年度第2回運営委員会 議事概要

- ・開催日時 平成29年9月8日（金） 13時30分～15時30分
- ・出席者 運営委員…………… 12名出席（欠席委員：3名）
 ウイズセンター…………… 所長、次長、職員
 男女共同参画青少年課… 総括参事

議事	概要
1 開会 2 議事 (1)平成29年度事業 の実施状況につ いて [質疑等] 委員 ウイズセンター 委員 ウイズセンター 委員 ウイズセンター	<p>ウィズセンター説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①総合相談事業について、今年度は増加しているようだが、何か考えられる理由はあるか。 ②就業相談事業のマザーズハローワークの出張相談について、実績がないということだが、センターで何か働きかけは行っていないのか。 <ul style="list-style-type: none"> ・①総合相談事業について、相談件数は昨年が少し少なかったため、割合は増えているような状況にある。DV相談については、迅速に支援機関に引き継ぎを行ったことなどにより、相談割合は少し減っている。一般相談については、同じ方からの解決困難な事例が多いような印象もある。 ②マザーズハローワークの出張相談について、センターから積極的な働きかけは行っていない。就業相談があった時、マザーズハローワークの方がセンターよりも駅に近いこともあり交通の便が良いため、そちらを案内することはある。他の女性センターでもこの出張相談の利用率が低いということは、お互いに共通認識できているので、今後も関係機関と連携を密にして働きかけていきたい。 <ul style="list-style-type: none"> ・就業相談について、産業労働部の担当課などとの連携はないのか。 <ul style="list-style-type: none"> ・岡山労働局、産業労働部労働雇用政策課、保健福祉部子ども未来課、男女共同参画青少年課などの関係機関が連携を取って会議等行っている。 <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画推進センターPR事業について、様々なことを行っているが、テレビや新聞を使った広報は行っているか。 <ul style="list-style-type: none"> ・テレビやラジオでの広報について、県政放送の枠があり、それに申し込み、年に数回は行っている。新聞などでの広報について、山陽新聞のイベント情報や、フリーペーパー等にもよく掲載していただいている。また、情報誌「with」については、今年度から金融機関の待合に冊子を置いてもらえることになり、いままでよりも多くの方にご覧いただけるようになるかと思う。

議事	概要
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ウィズセンターはPRがあまり上手ではないという印象がある。テレビや新聞などの影響は大きいので、ぜひ活用してもらいたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・総合相談事業について、LGBT（性的少数者）の方の相談はあるのか。また、そういった方たちの支援等を今後行っていく予定はあるか。
ウィズセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・相談件数として把握はしていないが、LGBTと思われる方からの相談もある。昨年度、男女共同参画ゼミナール事業でLGBTの方の支援を行っている岡山大学の中塚教授に講演いただいた。今年度はこのテーマでの講座の予定はないが、多様性を尊重する男女共同参画社会については広く周知していきたいと考えている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・DVの問題は女性と男性だけの問題ではないと考えている。例えば一時保護で、バイセクシャルの女性が入れなかったりするというような事案を漏れ聞いているので、ぜひ取り組んでいていただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画推進月間事業について、毎年パープルリボン運動を行っていると思うが、今年度はどういったことを行う予定か。またこういった運動に合わせて、ウィズセンターがDV問題の拠点の1つであることをPRしていただきたい。
ウィズセンター 男女共同参画 青少年課	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画青少年課で主にパープルリボン運動を行う予定である。 ・男女共同参画青少年課では、11月の「女性に対する暴力をなくす運動」の期間を中心に、人権施策推進課や子ども家庭課と連携して事業を行う予定である。市町村にも協力を呼びかけたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、県がコンビニや銀行等と締結している「包括連携協定」を積極的に活用し、様々な事業のPRを行っていくことを考えている。 ・ウィズセンターの広報について、いかにセンターのことを周知徹底するかというのが長年の懸案事項であると考えている。来年度ウィズセンターが20周年目でもあるため、今後どうかたちで企画を決め周知徹底を行っていこうと考えているか。
ウィズセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・企画決定については、国の「第4次男女共同参画基本計画」や岡山県の「第4次おかやまウィズプラン」の重点目標等に従い、周知徹底していきたいと考えている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアアップ講座事業について、津山での受講者数が2名ということで少ないが、例年と比べてどうであるか。また、その原因を分析しているか。
ウィズセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアアップ講座事業について、津山地域での会場である津山男女共同参画センター「さん・さん」と同じ建物の中に「津山まちなかカレッジ」というのができ、そちらで同様なセミナーなどを始めていることが原因の1つにあるかもしれないと考えている。岡山地域での開催では申込者数が定員を超えて受講者を選考した経緯もあり、何が要因となっているかをしっかり分析していきたいと思う。

議事	概要
委員 ウィズセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・競合する「津山まちなかカレッジ」とは何が違うと考えているか。 ・「津山まちなかカレッジ」は始まったばかりということもあり、参加者数はまだ多くないようだ。違いとしては、「津山まちなかカレッジ」では託児サービスがあると聞いている。また受講期間がキャリアアップ講座よりも若干短いようである。託児サービスの有無の影響は大きいかもしれないが、キャリアアップ講座は24日間の期間であるため、経費的なこともあり託児サービスを行うことは難しいのが現状である。
委員 ウィズセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・ウィズセンター登録団体活動支援事業について、現在5つの団体から申し込みがあるようだが、まだこの事業を活用したことがない団体に参加してもらい、新しい発想で活動してもらえればよいと考えている。そういった面での工夫など、具体的なものがあれば教えてほしい。 ・センターから直接的なアプローチは今のところはできていない。申し込みが少ないのは、ウィズセンターの会議室をできるだけ利用してもらうようにしているが、会議室の申し込みを受ける時期が遅いため、計画が立てにくいことが原因の1つではないかと考える。ウィズセンター登録団体の支援は、もっと充実した方がよいというご意見をいただいているので新しいところへも声をかけていきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・おかやまマザーズハローワークの出張相談について、完全予約制なのでなかなか敷居が高いと感じるが、いろいろな場所で就業相談ができるよというPRは必要かと思うので、引き続きぜひ行っていただきたい。
委員 ウィズセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・ウィズセンター登録団体について、登録団体の数に変化はあるか。登録団体の数の推移や状況について教えてほしい。
委員 ウィズセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・ウィズセンター登録団体の数は現在164で、多少の増減はあるが概ね横ばいである。
委員 ウィズセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の約160の団体は活発に活動されている団体が多いか。 ・会議室等をよく利用いただいているが、活発に活動されている団体ばかりではない。
委員 ウィズセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・ウィズセンター登録団体活動支援事業の中で、企画についてセンターが支援することはあるか。
委員 ウィズセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・情報コーナーを中心に、登録団体の方の求めに応じて、講演会などの講師の紹介や企画の提案などを行っている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・講座を行いたいと思っても、手順等がわからない団体も多いかと思う。講座づくりのワークショップのようなものなど行うなどして、企画の面でもう少し支援できると活動支援事業を利用したことのない団体が利用してくれるようになるのではないかと感じた。

議事	概要
<p>(2) 平成30年度事業の運営についての意見・提案について</p> <p>委員</p> <p>委員</p> <p>委員</p> <p>ウィズセンター</p> <p>委員</p> <p>委員</p>	<p>ウィズセンター20周年記念事業（案）について説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容やクオリティーを落とさず安価に行う方法はいくらかでもあると思う。予算を高くして行うレベルでなくていいと思う。20周年記念事業だからといって気張らず、ウィズセンターのやり方で行ってはどうか。たとえば、シンポジウムの登壇者でも、センターの20年の歴史をよく知っている、委員をずっとされた方などに絞って語ってもらう部分もいるのではないか。そういうものでないと、根付いていかないのではないかと感じる。 ・全国各地の女性センターの在り方も変わってきている中、ウィズセンターはずっと公営で運営しており、それは意義あることである。ウィズセンターの20年間の歩みがどう変遷してきたか、それをひもときながらウィズセンターの位置付けや在り方を根本的に見つめ直し、20周年事業を行うことで意義あるものになると考える。 ・「男女共同参画社会の実現に向けた県民の機運をさらに高めていく」という目的は、一般の県民からすると少しぼやけて見えると感じる。ウィズセンターの20周年で、今後、社会の中でどういう役割を果たしていくのいいかなどを、県民の皆さんの意見を聞いて、そういった意見をうまく吸収して形にしていき、今後のウィズセンターの在り方について、考えられるような機会にできればよいと感じた。 ・ウィズセンターの在り方について、県民の皆さんと一緒に考えていけるような機会にすることを検討していきたい。 ・20周年記念事業は本当にいい機会だと思う。男女共同参画がどういうものかなど知らない人は多く、経営者団体の男性経営者も「女性のためのもの」と考えている人も多い。なので、男性の参加者もたくさん集まれるような工夫を考えてもよいと思う。こういう大きな事業の場合、講演会など行うと思うが、講演を聞いて終わりではなく、その後何を残すかということが大事になると思う。20周年記念事業はいろいろな立場の人が集まれるよい機会になると思うので、ウィズセンターに来れば「男女共同参画とは何か」「何のためにするか」ということが分かる道筋をつくったりできればよいと思う。講演会も入れながら男女共同参画がどんなものなのか、何なのかが分かるような会にできれば有効なのではないかと思う。 ・プロのファシリテーターに依頼し50～60人規模のワークショップを行いそれぞれの班で発表してまとめる、という事業を行ったことがあるが、参加者に大変好評であったので、そういったことを行ってもよいかと思う。それと、ウィズセンターの認知度がなかなか広がらないことについて、新しい世代の人にも男女共同参画を知ってもらうことも必要だ

議事	概要
委員	<p>と思う。若い人など、今まで来なかった方たちに参加してもらえるとよいと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・20周年をきっかけに機運を高めるということは推進月間と併せて行えば実現が難しいことではないと思う。例年の推進月間に少しプラスして20周年を盛りあげていくやり方はよいと思う。従来 of 事業を活用し推進月間だけでなく、年間を通じて盛り上げていくやり方をすれば、大きな予算を使わなくても効果が得られると思う。
ウィズセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・20年目の年であるため推進月間である11月に向けて、いろいろな企画で盛り上げていくのはよいと感じた。たくさんのアイデアをいただいたので、従来 of 事業の中にも盛り込むことを考えてみたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・20周年記念事業をするに当たり、いろいろな立場の方に集まってもらい企画を考えていく「企画運営委員会」みたいなものを行い、企画を一緒に行うことを考えてはどうか。企画をウィズセンターのみで行うのではなく、様々な団体を巻き込んで行っていくのがよいと感じる。
ウィズセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな方に協力いただき広がりを持たせていくことは重要であるため考えていきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画に関する基本的なことが分かる講座を行ってほしいと感じる。ウィズセンターの出前講座を現在活用しているが講座は1回だけである。たとえば複数回の連続講座を出前講座を行ってもらい、男女共同参画の基礎を学んでいける講座があるとよいと思う。また、県北などからきらめきプラザでの講座に参加するのは移動の面でも簡単ではないため、地元に来てもらえる出前講座の回数が増えるとよいと思う。
(2) 平成30年度事業の運営についての意見・提案について	<p>キャリアアップ講座事業の見直しについて説明</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアアップ講座事業のウィズセンターの立場として「働くということを前提」にしているのか。この事業はビジネススクールのウィズセンター版という位置づけなのか。またはカルチャースクール的な要素が強いのか。
ウィズセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアアップ講座事業について、従来通り「結婚、出産、育児、介護等によっていったん仕事を中断したけれど、再就職を希望する女性を対象」としており、中軸は変わりはない。ウィズセンターがキャリアアップ講座を行う意義は、人生の中で働くということを考えたり、その能力を十分発揮したりすることができるように、再就職等のために必要な、より高い資格や能力を身に付けるためのサポートをすることにあると考えている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・このキャリアアップ講座事業は働きたい人と雇い入れる企業側とのミス

議事	概要
<p>ウィズセンター</p>	<p>マッチを感じる。今育児をしている方が、子どもを抱えて仕事に出られるかどうか。それをまた引き受けてくれる企業がどれだけあるか。基本的には、面接の時点で結構落とされる場所が多いのが現実である。講座の期間について、すごく長く感じる。何日も子どもを持った母親が講座を受けることが出来るのか疑問だ。これから本当に働きたい人は、このような講座を活用し、自分の中で少し自信をつけて就職したいと考えるかもしれないが、企業側からすると、中途半端な知識はあまり必要ではない。しかし、内容はともかくとして、出来るようになることで自信が付きモチベーションになればよいことだと思うが、就職先がないとなるとモチベーションは下がる。この講座を受講したら就職先を紹介してくれて確実に就職できるというのであれば、参加者は増えると思う。難しいことではあると思うが、いろいろな企業と連携を図ったりしてつながりを持つことで、ウィズセンターから企業側に「こういうことしているんだ」「こういう人たちがいるんですよ」といった働きかけを行うような方法もあるかと思う。なので、ただ講座だけを行うだけでなく、次につなげる事が重要になってくるかと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性職業センターとしての機能があった時のように就職支援員がいるわけではないので難しいかもしれないが、次につなげていくことを意識していきたいと思う。
<p>(2) 平成30年度事業の運営についての意見・提案について</p>	<p>ウィズセンター登録団体アンケート結果について説明</p>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの回答率が約35パーセントであるとのことだが、回答している団体は男性女性問題をメインに活動している団体が多く、それ以外の団体の回答が少ないのではないかと。分野ごとにどのくらい回答率があつたか教えて欲しい。
<p>ウィズセンター</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ウィズセンター登録団体163団体中57団体から回答があつた。活動分野が女性・男性問題の団体からの回答が一番多く、回答のあつた57団体中の25団体、約44パーセントであつた。他には、活動分野が商工労働の団体は9団体の登録があるが、そのうち7団体から回答があり、活動分野が商工労働の団体は8割近く回答している。母数が多いため活動分野が女性・男性問題の団体からの回答が多いが、活動分野ごとにまんべんなく回答されている。
<p>3 閉会</p>	<p style="text-align: right;">以上</p>